

<お知らせ>

平成14年度認定HLA検査技術者講習会

下記要領にて平成14年度認定HLA検査技術者講習会を開催いたします。なお、認定HLA検査技術者特例認定申請書を既に提出されている受講者には、受講後の受講者名簿へのサインをもって受講証明といたします。それ以外の受講者には、受講後に受講証明書を発行いたします。

本年度と来年度に検査技術者認定を取得しようとしている方々は、この講習会を受講することが必要です。本年度に申請された方は、必ず受講してください。また、来年度に申請を予定している方についても、申請前に受講することが検査技術者認定の必須条件になっていますので、必ず本年度の講習会を受講し、受講証明書をお受け取りください。本年度の講習会を受講しておかないと、来年度の申請ができませんので、ご注意ください。また、受講証明書は再発行致しませんので、申請時まで大切に保管してください。

講習会の受講は最低1回が申請の必須条件となりますが、必須として受講した分は認定申請の単位に算入できませんので、来年度に申請予定の方はお気を付けください。平成16年度以降に申請される方については、本年度講習の受講を申請時の単位（5単位）として算入することができますが、その場合には申請時に遡る5年間に別途技術者講習の受講が必要となります。

組織適合性技術者認定制度委員会
委員長 佐治 博夫
教育部会長 西村 泰治

記

1. 会期： 2002年9月23日（月：祝日） 16:00～18:00
2. 会場： 川越プリンスホテル
〒350-8501
埼玉県川越市新富町1-22
TEL.049-227-1111, FAX.049-227-1110
*: 第6回HLA DNAタイピングQCワークショップ終了後、引き続き同会場で行います。
3. 講習会参加費： 2,000円
4. 講習会内容

HLA遺伝子領域の構造：	猪子 英俊（東海大学）
HLA分子の機能：	西村 泰治（熊本大学）
HLA遺伝子の連鎖不平衡：	徳永 勝士（東京大学）
HLAタイピングと遺伝子解析ガイドライン：	木村 彰方（東京医科歯科大学）

付記：今回は大会会期中の下記のシンポジウムとワークショップを教育部会推薦講演（聴講することが望ましいが、認定の必須条件ではありません）といたします。

シンポジウム2 「移植医療とHLA」
ワークショップ 「HLAタイピング・移植検査の最前線」

<お知らせ>

平成14年度特例認定組織適合性指導者講習会

第11回日本組織適合性学会大会中の下記の講演等をもって、平成14年度認定組織適合性指導者講習会に代えます。すなわち教育講演中の4つの講演の聴講、あるいは2～5の4つの講演等などのうち少なくとも2つの聴講をもって、指導者認定に必須の講習を受講したものと認めます。なお、受講後の受講者名簿へのサインをもって受講証明といたします。

本年度に指導者認定を申請された方は、必ず指定された講演を受講してください。また、来年度の特例認定を申請する予定の方も必ず指定された講演を受講し、受講者名簿にサインしてください。今年度受講しないと、来年度の指導者特例認定申請ができなくなりますので、ご注意ください。なお、平成17年度以降（平成16年度の認定はございません）に指導者認定の申請を予定している方の講習は、平成16年度の大会時に開催する予定です。今回の講習は特例認定のためのものですから、単位として算入することはできませんことを御留意ください。

組織適合性技術者認定制度委員会
委員長 佐治 博夫
教育部会長 西村 泰治

平成14年度特例認定組織適合性指導者講習会に代える 第11回日本組織適合性学会大会中の講演等

1. 教育講演：
 - 1)癌細胞の排除におけるHLAの役割
 - 2)HLAテトラマーによる抗原特異的CD8 T細胞の解析
 - 3)HLA分子とT細胞応答
 - 4) 妊娠免疫とHLA クラスIb
2. 特別講演 「DNAからみた日本人の起源」
3. シンポジウム1 「細胞治療：現時点での治療成績と今後の展開」
4. シンポジウム2 「移植医療とHLA」
5. ワークショップ 「HLAタイピング・移植検査の最前線」